

◆議会未来創成特別委員会の中間報告◆

定数の見直しと報酬の適正化を検討しています

本委員会は、令和8年6月19日、第2回定例会の最終日において、これまで取り組んできた調査・研究の経過を「中間報告」として報告いたしました。

安中市では今後15年間で人口が20%以上減少すると予測されており、市議会においても、より効果的で市民に身近な議会のあり方を模索する必要があります。本委員会では、令和7年6月の設置以来、11回にわたる委員会や先進地への視察、さらには市民の皆さんの率直なご意見を伺うためのアンケート調査を実施し、議論を重ねてきました。

本年2月に実施した市民アンケート（316名回答）の結果では、議員定数について「多い」とする回答が68%に達しました。また、議会を身近に「感じない・あまり感じない」という回答も66%に上り、議会と市民感覚の間に大きな乖離があることが浮き彫りとなりました。

こうした調査結果を受け、本委員会では「これまでの議会改革の方向性をさらに深化させる必要がある」と判断し、検討を進めました。今回の報告では、定数の検証をはじめとする改革案を提示しています。

今後の取り組みの柱として、議員定数については、アンケートの結果を踏まえ、具体的な見直しを進めます。あわせて、25年以上見直しが行われていない議員報酬についても、活動の多忙化や担い手確保の観点から適正化の検討を行います。

このほか、議会独自の政策立案機能の向上にも一体的に取り組めます。単なる数値の議論にとどまらず、持続可能で開かれた議会の実現に向け、引き続き全力でまい進してまいります。

中間報告の詳細はこちら



～議員による新盆参りの金品の供与は法律で禁止されています～

議員による新盆などでのお供え・ご仏前は公職選挙法違反となるものですので、市民の皆さんのご理解をお願いいたします。



出典：総務省ウェブサイト

(https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html)

※本人が自ら出席する場合は罰則が適用されない場合があります